

# 立西巻き



尼崎市立立花西小学校  
2026.5.22 (金)  
No.10

[ 校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより) ]

## 男の相談室

「みんな。こっちの方につめつめに布団ひくぞ。今日は、男の相談室や。」

たたみ16畳ほどある大広間。男の子9人が部屋の準備や整理をしていました。今夜は、どうやら、男の相談室が行われるようです。どんな、相談をするんだろう😊

女子の部屋をノックしました。こちらは市松模様スタイルでの布団敷き。「校長先生、おひとつどうぞ。」とお土産屋さんで買った鳴門芋けんぴを思わず「あ〜ん」して食べそうになりました。もらった淡路島キャラメルがいつも以上に甘く美味しかったです。こんなに広いお部屋で、みんなで寝るんですもの。楽しさ爆発です。

5月20日(水)・21日(木)。6年生が淡路島・姫路方面に修学旅行に出かけました。兵庫県の素晴らしさ満喫の旅です。

修学旅行の主な目的は、集団生活のルールやマナーを学び、仲間との連帯感を深めること、教科書だけでは得られない見聞を広め、自然や文化に触れる教育的な体験をすることです。学校生活ではできない貴重な体験を通して、社会性、自立心、公共心を養い、豊かな人間性を育てることを目指しています。行先検討のポイントとしては、教育的価値(歴史・文化・自然体験等)や安全性、アクセスのよさ、宿泊、食事、体験活動の充実、費用面のバランス等です。

この度の修学旅行については、昨年夏から何度も検討し練りに練って決定しています。特に、費用面に制限があることには苦勞するところです。子ども達の一生の思い出が総じて「楽しかった!!」と思えるようにとの願いを込めて先生達で何度も何度も考えました。

多くの学びがあるようにと、企業様へも昨年度には訪問し、ご依頼しました。受け入れにも大変感謝しています。



## 近くて遠い充実の淡路島

本校へ着任してから、「なぜ、行先が県外ではないのか。」といったご質問を受けたことがあります。当然のこと県外についても検討先には入っています。検討に検討を重ね、ここ数年は、学びの重点を兵庫県淡路島中心に行先を決定しているところです。私は、この行先について、自信をもって実施しています。

この度は、先生方が子ども達につけたい力をどの場で学ばせるのかを考えた結果がこの地なのです。特に今年度は、地球上のすべての事柄を感じさせる内容でした。

一日目。北淡震災記念館では、大地の脅威を感じました。ミツ精機株式会社様では、航空部品をつくる人々の働くことへの熱い思いと社会に貢献する大切さを学びました。

おうちの方が準備してくださった昼食は、慶野松原で、海を眺めながら、最高の景色で格別な味がしました。その後は海に足をつけ、大はしゃぎです。うずしおクルーズでは広い海原にできる渦潮の不思議を感じ、みんなでした花火の美しさは、瞼にやきついたことでしょう。

少し、はしゃぎすぎて、先生に叱られたことも、大切な学びです。

二日目。世界の動物が暮らす姫路セントラルパーク。動物達が「何しに來たん」と言っているようです。雨が降ったり止んだり。考えながら、乗り物ライドや

食事、お土産購入ができました。「ぎゃ〜っ。」と叫んで仲間にしがみつき、出口を目指したお化け屋敷。怖すぎましたね(;\_; 仲間が一緒だったから怖さも半減したかな。

大地、海、空、大人(キャリア教育)、動物、乗り物、晴れと雨。そして一番大切な仲間達。

みりのり学級児童のしおりメモ。修学旅行を楽しみたい子ども達の思いを叶えたのではないかと振り返っています。



海を眺めながら、最高の景色で格別な味がしました。その後は海に足をつけ、大はしゃぎです。うずしおクルーズでは広い海原にできる渦潮の不思議を感じ、



みりのり学級児童のしおりメモ。修学旅行を楽しみたい子ども達の思いを叶えたのではないかと振り返っています。